



江工関東遊歩クラブの皆様へ

幹事A40 河野 一史

E47 千代延 武

第20回例会の報告

台風18号の前線が近づく中、2014年10月4日(土)新宿発7:30「あずさ3号」にて山梨県堺より二つ先の長野県富士見駅にて下車。駅前よりシャトルバスにて山麓駅へ、ゴンドラに乗換え、後方に八ヶ岳を望みながら、標高差730mを10分で一気に登る。色づき始めたカラマツ林の中を抜けて入笠湿原に降り立つと、一面の草紅葉と終りの時季を迎えたエゾリンドウの花が健気に咲いていました。

御所平登山口よりお花畑の中を抜けて、喘ぎながら入笠山山頂をめざし、途中岩場回避コースと二班に分かれて無事到着し、標識をバックに記念写真を撮る。

360度の眺望は残念ながら一面の濃いガスに蓋われ見えませんでした。額をなでる風が火照った身体を冷ましてくれました。昼食後登山道を下り首切登山口へ、このあたりは夜叉神峠で見た「サルワゴケ」がカラマツ林の幹に取り付くと2年後には枯れてしまうそうです。

車道を下り大阿原湿原へ入り、別コースを辿ったグループと再会し、木立の中を折り返し点まで進むと高木が無くなり、急に開け大湿原の全容が姿を見せてくれました。シラカンバ、ズミ、ヤナギの木々が遠くになり、草紅葉とのコントラストが実に素晴らしい。

往路を八ヶ岳展望ビューポイントまで戻り、入笠湿原を半周し、ゴンドラ山頂駅からゴンドラに乗り山麓駅へ。宿の車に送迎されてホテルに到着。

早々にお風呂へく一日4回各10分間温泉の色がヒスイ色に変化するのには遭遇出来ず、茶褐色の湯に充分浸り足腰の疲れを癒しました。飲み放題で目一杯飲み、こだわりの旬の食材の御馳走を食べつくし、楽しい時間は過ぎて早々に眠りにつきました。

翌朝、10月5日(日)は雨の音で目が覚め、予定変更の為、ゆるりとバイキングの朝食をいただく。宿の車で小淵沢まで送ってもらい、小海線に乗換え甲斐小泉駅で下車。雨具に着替え徒歩10分で「三分の一湧水」へ大雨の中三角型の石柱で三方向に均等に分水した江戸時代の利水施設見学。

「そば処」は準備中なので隣接の「水の恵みの博物館」を見学。再び「そば処」に戻り、信州そばを頂く。タクシーで甲斐小泉駅に戻り小海線で小淵沢に戻る。

中央線で甲府に、前売りの指定券の急行まで時間が有りすぎるので、各自指定変更の手続きをしてもらい甲府駅で解散致しました。



参加者：原田(A32)石橋(M34)島田(M34)盆子原(C34)岸(C37)河野(A40)

新田(A46)鍛冶(M47)福田(A51)

～平成 26.10.28 記～